

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



|                 |                                                                                              |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | ヒヤリハット                                                                                       |
| 2. 体験した事例の名称    | 濃煙の火災現場にて要救助者を検索中、空気呼吸器の残量が無くなりそうになった事例                                                      |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | ①進入時には残圧確認、活動時間の把握を行ったが、検索途中の残圧確認を怠っていた。<br>②自分の重作業時の空気消費量を把握できていなかった(特に緊張もあり、消費量が多くなったと考える) |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | まだ活動時間は十分あり、大丈夫だろうという考えがあったため。                                                               |

【体験した事例の直接的原因について】



|                  |              |
|------------------|--------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。 |
|------------------|--------------|

【体験した事例について】



|                                  |                      |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成22年5月某日 午後1時頃      |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                   |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：トンネル内車両火災現場       |
| 4. 体験した事例の種類                     | 回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 |
| 5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)  | 重傷の怪我をしていた(させていた)だろう |
| 6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)     | その他：窒息               |
| 7. 事例体験時の活動                      | 火災現場活動中期、[ 車両 ]      |
| 8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか         | 人命検索                 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した              |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                   |                                                               |
|-------------------|---------------------------------------------------------------|
| ○当事者A             | 年齢[25]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防副士長]<br>同様の活動 [初めて]、任務 [隊員] |
| ○当事者B             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]        |
| ○当事者C             | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ] 年、階級[ ]<br>同様の活動 [ ], 任務 [ ]        |
| ○その他(当事者が4人以上の場合) |                                                               |

11. 事例発生時の経過。

|      | 誰が(何が) | なにをした                                  | その他・備考など |
|------|--------|----------------------------------------|----------|
| 経過1  | 当事者A   | 火災出動のため救助工作車に乗車し出動した                   |          |
| 経過2  | 〃      | 車内で空気呼吸器を着装した                          |          |
| 経過3  | 〃      | 現場到着後、車両に放水活動を実施                       |          |
| 経過4  | 〃      | 他に要救助者がいないかトンネル内の検索を2名×2バ<br>ディー計4名で実施 |          |
| 経過5  | 〃      | 検索中、残圧3Mpaで警報音が鳴動                      |          |
| 経過6  |        | トンネルの反対車線へ抜ける避難連絡通路を見つけ、待避し<br>た       |          |
| 経過7  |        |                                        |          |
| 経過8  |        |                                        |          |
| 経過9  |        |                                        |          |
| 経過10 |        |                                        |          |
| 経過11 |        |                                        |          |
| 経過12 |        |                                        |          |

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難退避がうまくいった。 たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい  |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | はい  |
| ・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい  |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|             |
|-------------|
| 隊員個人の行動管理不足 |
|-------------|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

## イメージ図



濃煙の火災現場にて要救助者を検索中、空気呼吸器の残量が無くなりそうになった。  
(残圧3Mpaで警報音が鳴動し、トンネルの反対車線へ抜ける避難連絡通路を見つけ、待避した)